

## 一般演題8-8

### 高気圧酸素療法の件数増加に伴う安全対策

加藤恭浩<sup>1)</sup> 長谷川将太<sup>1)</sup> 杉山知泰<sup>1)</sup>

船田寿成<sup>1)</sup> 水野琢呂<sup>1)</sup> 三輪直毅<sup>1)</sup>

水谷喜雄<sup>2)</sup> 斎藤史郎<sup>2)</sup> 金田英巳<sup>2)</sup>

山田実貴人<sup>2)</sup>

- |    |           |        |       |
|----|-----------|--------|-------|
| 1) | 社会医療法人厚生会 | 木沢記念病院 | 臨床工学課 |
| 2) | 社会医療法人厚生会 | 木沢記念病院 | 救急部門  |

#### 【はじめに】

本年4月より高気圧酸素治療（以下HBO）の診療報酬が増点した。それに伴い治療件数が増加した為より一層の安全対策が必要となる。当院におけるHBOの安全対策を報告する。

#### 【方法】

当院では高気圧酸素治療専門医（以下専門医）の指示により、高気圧酸素治療専門技師（以下専門技師）を含む臨床工学技士にて施行している。昨年の総治療件数1355件、本年7月現在1164件施行している。件数の増加による問題点の抽出しその対策を施行した。

#### 【結果】

一日に多くの症例を施行しなければならず、施行者は時間に追われてしまっている。その為身体チェックが不十分になる可能性が考えられる。また件数の増加が著しく操作者は漠然とした不安感を感じていることがある。そのため操作者全員で身体チェック表の見直しと、施行方法の検討会と非常時のシミュレーショントレーニングを施行した。多くの診療科からの依頼があり、今までHBOの患者を対応したことがない病棟へ患者が入院することが増加したため、スタッフへの教育が必要である。施行件数の増加に伴い事故に対する認識が薄れていく可能性がある。この2点を中心に動画や実際の事故写真を用いた資料を作成し勉強会を行った。チェックリストを用いて操作者育成にも取り組んだ。

#### 【考察】

今後も施行件数は増加していく為、操作者は今まで以上に安全に対する意識の向上が必要である。治療件数の増加に伴い多くの操作者の育成が必要であ

る為、治療方法の検討会と定期的なシミュレーショントレーニングを行っていく必要があると考えられる。また、複数の診療科からの依頼が増加したため、今まであまり治療に関わることのなかったスタッフが増加することが予測される。そのために安全に関する啓蒙活動を行っていく事が必要である。今まで関わることのなかったスタッフは、HBOにおける事故に対してどのようなものか想像することは困難である為、実際の事故の写真など理解しやすいものを用いて行うことが必要であると考えられる。操作者の育成と共に専門医・専門技師の育成も行っていく必要がある。今後、新規でHBOを開始する施設の増加も予想される為、学会を中心に安全に対する啓蒙活動を積極的に行っていく事を強く望みます。

#### 【結語】

HBOの安全を維持していくためには施行者の安全への意識の向上と、医療スタッフへの啓蒙活動は必要不可欠である。